

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 地域経済学科	氏名	男 澤 智 治 Ozawa Tomoharu
職名	教授	E-mail	ozawa@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

1985(昭和60)年3月	日本大学理工学部交通土木工学科卒業 工学士
1987(昭和62)年3月	日本大学大学院理工学研究科博士前期課程 交通土木工学専攻修了 工学修士
2014(平成26)年3月	博士(学術)第7080号 日本大学

■ 主な職歴

1987(昭和62)年4月	株式会社日通総合研究所(現NX総研) 入社
2000(平成12)年4月	中村学園大学 流通科学部 専任講師
2004(平成16)年4月	九州国際大学 国際商学部 助教授
2010(平成22)年10月	九州国際大学 経済学部 教授
2017(平成29)年4月	九州国際大学 現代ビジネス学部 教授(現在に至る)

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学 部：流通概論・国際物流論

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：『港湾ロジスティクス論』晃洋書房、2017年12月 『東アジアの港湾と貿易』成山堂書店、2024年2月

研究活動

■ 研究分野

研究分野	商学(物流論)
主な研究テーマ	東アジアとの連携を主とした北部九州港湾整備に関する研究
キーワード	北部九州港湾、韓国、中国、台湾、海上コンテナ貨物 中欧班列(中越・中老も含めて)

■ 主な著書・論文等

著書

- (共著)『新修・北九州市史(経済編)』北九州市、2017年、B5版、667頁。担当は第3章第5節「物流」332-358頁。
- (単著)『港湾ロジスティクス論』晃洋書房、2017年、A5版、226頁。
- (共著・編者)『物流を学ぶー基礎から実務まで』中央経済社、2020年、A5版、200頁、担当は第12章「戦後のわが国物流の総括とこれからの物流」181-195頁。
- (共著)『国際ビジネス論を学ぶ』中央経済社、2020年、A5版、213頁、担当は第9章「企業の国際化とコンテナ物流」146-162頁。
- (共著・編者)『東アジアの港湾と貿易』成山堂書店、2024年、A5版、226頁、担当は第1章「東アジアの経済と港湾」1-21頁。

論文

- (単著)「香港港の持続的発展に関する一考察」『港湾経済研究』(日本港湾経済学会) No. 54、2016年3月、57-68頁、査読有。
- (単著)「青島港における港湾発展に関する一考察」『港湾経済研究』(日本港湾経済学会) No. 55、2017年3月、1-13頁、査読有。
- (単著、英文)「A Study on the Current State and Future Development of Colombo port」『九州国際大学国際・経済論集』創刊号、2018年3月、77-97頁、査読無。
- (単著)「福州港の現状と発展に関する研究」『九州国際大学国際・経済論集』第3号、2019年3月、161-177頁、査読無。
- (単著)「「一带一路」構想と中国鉄道輸送について」『九州国際大学国際・経済論集』第4号、2019年8月、53-71頁、査読無。
- (共著)「中欧班列と日韓発貨物の接続の現状と展望ー陸港の発展戦略と日韓の活用戦略ー」『日本物流学会誌』(日本物流学会)第29号、2021年6月、37-44頁、査読有。
- (単著)「新型コロナウイルス下における企業のサプライチェーンや物流への影響」『九州国際大学国際・経済論集』第8号、2021年9月、71-92頁、査読無。
- (単著)「RCEP 下における東アジア物流に関する研究」『九州国際大学国際・経済論集』第10号、2022年9月、105-122頁、査読無。
- (単著)「カーボンニュートラルポート(CNP)に関する研究」『九州国際大学国際・経済論集』第12号、2023年9月、107-124頁、査読無。
- (単著)「物流の2024年問題に関する一考察」『商経学叢』(近畿大学商経学会)第71巻第4号、2025年3月。

学会発表

- (単独) 香港港の持続的発展に関する一考察、日本港湾経済学会第54回全国大会、於：大阪商業大学、2015年8月28日。
- (単独) 青島港における港湾発展に関する一考察、日本港湾経済学会第55回全国大会、於：北海学園大学、2016年9月9日。
- (単独)「一带一路」構想と中国鉄道輸送について～日本発貨物に対する若干の考察～、ビジネス科学学会第3回全国大会、於：中村学園大学、2019年6月29日。

○ (共同) 中欧班列と日韓発貨物の接続の現状と展望－陸港の発展戦略と日韓の活用戦略、第37回日本物流学会全国大会、於：専修大学 (Zoomで開催)、2020年9月20日。
○ (単独) RCEP 下における東アジア物流の動向、2022 韓国貿易学会冬季学術大会、於：ソウル、2022年12月16日。
その他

■ 大学就任以前の主な業務上の実績	特記事項なし
-------------------	--------

■ 主な所属学会	日本港湾経済学会、日本物流学会、日本貿易学会、アジア共生学会
----------	--------------------------------

■ 受賞等	特記事項なし
-------	--------

■ 研究助成金による研究	○ 科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号 19530397、2007年度～2009年度 ○ 科学研究費補助金 基盤研究(C) 課題番号 22530471、2010年度～2012年度
--------------	--

社会における活動等

○外部委員：下関港長期構想委員会委員 (下関市、2015年12月～2018年11月) 北九州港港湾施設指定管理者検討会座長 (北九州市、2022年6月～9月) 新門司マリーナ運営事業事業者検討会座長 (北九州市、2023年2月)
○その他：九州六大学野球連盟・理事長 (2020年4月～現在に至る) 全九州大学野球協会・会長 (2024年4月～現在に至る)

大学運営活動等

○ 九州国際大学・硬式野球部長 (2013年4月～現在に至る)
○ 経済学部長 (2015年1月～2018年3月)
○ 国際関係学部長 (2017年1月～2018年3月)
○ 現代ビジネス学部長 (2017年4月～2018年3月)